

オフィスの窓から

21年度上半期執筆者

日曜経済面コラム「オフィスの窓から」は4月4日から、新たな執筆陣で2021年度上半期をスタートします。那覇市のデパートリウボウに洋菓子店を出店した上場経験者、大手商社で海外駐在を経験した後に家業の建設業を継いだ3代目社長、那覇市内ホテルの運営に携わる女性総支配人、新型コロナウイルス禍で打撃を受けた事業者をサポートする支援機関代表、県産ブランド牛の魅力発信に奔走する食肉販売会社社長の5氏です。

9月までの半年間、それぞれの日々の取り組みや気づき、思いをつづります。
「愛読ください。」

■金井 孟氏(かない・たけし) キセキノ会長。1962年生まれ。愛知県出身。87年、関西大学卒業。建築設計事務所勤務を経て91年、新都市科学研究所(現エヌジェイホールディングス)の設立に参画。94年、同社社長に就任。携帯電話販売事業に参入し2006年、ジャスダック市場に上場した。09年には日本企業として初めて韓国株式市場にも上場した。

現在、プロバスケットボールチーム運営や、IT企業など10社で役員を務める。

このほど、那覇市のデパートリウボウに洋菓子店「ゴールドウエル・キセキノスイーツ」を出店。「実業家の目で見た沖縄のポテンシャルについてお伝えしたい。」

■福地 一仁氏(ふくち・かずひと) 福地組社長。1983年生まれ、嘉手納町出身。東京大学大学院修了後、三菱商事に入社。中国・韓国向けの半導体設備の営業を経て、2013年から約5年間、タイに駐在。現地メーカーと合弁会社を設立し、人事・会計、販売、調達など幅広い業務を担当した。

18年9月、沖縄に戻り、福地組に入社。営業次長、専務を経て、21年2月、3代目社長に就任。リノベーションや省エネ住宅などの新規事業を立ち上げつつ、女性の活躍を促す「えるぼし認定」の取得など、職場の意識改革にも取り組む。

「過去から現在を通して学んだことを伝えたい。」

■武田 寛枝氏(たけだ・ひろえ) ロワジールホテル&スパタワー那覇総支配人。1972年生まれ、浦添市出身。専門学校神田外語学院卒業。93年エアー沖縄(現ANA沖縄空港)に入社し、グランドホステスとして空港内で従事。2003年5月、宿泊予約サイト「じゃらん」などを運営するリクルートに入社。13年4月、リクルートライフスタイル沖縄社長に就任。17年まで務め、20年10月、ロワジールを運営するソラールホテルズアンドリゾーツ(東京都)に入社した。

「新米総支配人ですが、ホテル現場から見た沖縄観光の魅力や課題を発信したいと思います。半年間よろしくお願ひします。」

■神谷 繁氏(かみや・しげる) 県中小企業診断士協会会長。おきなわ経営サポート代表。

1964年生まれ。沖縄市出身。82年、沖縄銀行入行。95年、中小企業診断士資格を取得し、企業の事業再生支援を担当した。2004年、事業再生を必要としている中小企業にさらに寄り添って支援したいと、独立開業。現在、事業再生業務のほか、経営顧問から事業承継、M&A(第三者承継)まで幅広いニーズに対応し、150社以上の案件を手掛けた。

「県内の中小企業が『アフターコロナ』において元気でいられるよう、これまでの経験を交えながら事業再生などのヒントを提供したい。」

